

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立三重西小学校

校長 長崎雅子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 学習支援や児童見守り等の保護者・地域との協力体制を継続・発展させ、学校・家庭・地域が一体となって児童の健全育成に努めます。
- (3) これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者・地域の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【地域の人・文化や自然とのふれあい学習】

コロナ禍においても、地域とのつながりある活動については、地域の方が利用することの多い開放教室等に、防塵・抗菌マットを設置するなど、中止することがないように心がけました。自然環境の整備において協働する活動を進めることができました。

「いきいきサロン」の方に来校いただき、1年生は1学期に、2年生は2学期に、花植えを行いました。この活動では、いきいきサロンの方が笑顔になるとともに、子どもたちは自然の豊かさを感じることができました。また、いきいきサロンの方からいただいた花苗は、栽培委員により学校花壇整備にも活かされ、美しい花壇となっています。

「しろやま倶楽部」の方は、5年生を対象に、1学期には城山緑地公園の保全活動の講義をしていただきました。2学期には実際に城山緑地にいき、里山保全の活動を体験することで、自然の大切さを感じることができました。また、3年生には、昔の暮らしを学ぶ授業を行ってもらい、今と昔の生活や遊びの違いを体感することができました。その授業後、三重地区郷土資料館に社会見学に



行き、昔の暮らしについて、さらに学習を深めることができました。

【読書活動の充実】

図書ボランティア「どんぐりの会」は、毎週、学校に来校し、読書にかかわる環境整備等を行っています。図書室での七夕企画やクリスマス企画等、子どもたちが季節感を感じるよう整備してくれています。また、低学年・中学年・高学年の発達に応じて選書し、放送を利用し、読み聞かせを行っています。



昇降口付近や北棟2階のロビー等、子どもたちの目に触れやすいところにコーナーを設置し、少しでも子どもたちが読書に関心がもてるよう取り組んでいます。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

委員の方に、授業参観をしてもらうことで、実際の子どもや授業の様子をみて、教育活動についてのご意見をいただきました。学力・体力向上、読書推進等、本年度の学校づくりビジョンで大切にしているところをしっかりとみていただき、よりよい学びや学校にしていくためのご意見は、とても参考になっています。

学力向上に関わって、1人1台タブレットが導入について話題となりました。ともに活動したゲストティーチャーの方へ、児童がICTを活用し、感想をふくめた礼状を即時に作成して手渡したところ、とても驚いたという話がありました。1年生においても利用している状況やタブレットを有効に活用している姿からICTが有効的に活用されていると評価をいただきました。

また、コミュニティスクールの方を中心にゲストティーチャーや見守り隊としても具体的に参画していただいています。地域から学ぶ、地域と学ぶ... 子どもたちのこれからの人生において、大きな成長の糧になると考えています。



3 今後に向けて

今年度の取組や児童の状況を踏まえ、来年度に向けた提言をいただきました。その上で、

- ・ ICT活用をふまえ、児童たちの「選択する力」の育成
 - ・ 体力向上とICT活用の両立
 - ・ 児童の自治的な活動の推進
- だと考えています。

この課題の解決にむけて、コミュニティスクール運営協議会の方とともにしっかり具体的な方策を考え、教育活動に活かしていきたいと考えています。